

# 防災研究所公開講演会 ③A

- 日 時：10月28日(土) 10:00～12:00
- 会 場：宇治おうばくプラザ1階 きはだホール
- 定 員：300名

## ■ プログラム

### 建築防災工学の最前線で活躍する関西のエンジニア

#### 10:00～11:00 「大阪湾岸に建つ既存超高層建築物の長周期地震動対策」

株式会社日建設計 エンジニアリング部門 構造設計グループ 構造設計部 秦泉寺 稔 子  
 講演要旨：平成 29 年 4 月、新築の 60m を超える超高層建築物に対して南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策を講じた設計が義務付けられました。既存建築物に対しては義務ではないものの、自主的な検証や必要に応じた補強を講じることが望ましいとされています。

本講演では、大阪湾岸に建つ超高層建物について、長周期地震動対策に関する基準整備が行われる前の平成 23 年度から 25 年度にかけて行われた制振ダンパー設置などの対策工事、および今回の基準整備を受けて検討している今後の追加対策方針についてご紹介します。



#### 11:00～12:00 「板ガラスから始まった私の研究生活」

大阪市立大学 工学研究科 都市系専攻(建築学) 准教授 ガヴァンスキ 江 梨  
 講演要旨：カナダの西オンタリオ大学で立ち上がった Three Little Pigs Project に参加するために博士後期課程に進学、そこで高性能な荷重装置の開発に携わり、その装置を用いた板ガラスの耐風性能に関する研究を行いました。博士研究員を経験後、日本に帰国し、これまで 3 つの大学において、強風から住宅を守るための研究に取り組んできました。カナダと日本の大学における、研究に対する取り組み方や学生生活の違い、そして自らの研究内容の紹介に加えて、母親研究者としての葛藤をざっくばらんに楽しくお話します。建築防災を目指す若手技術者や学生が増える一助になればと思います。

